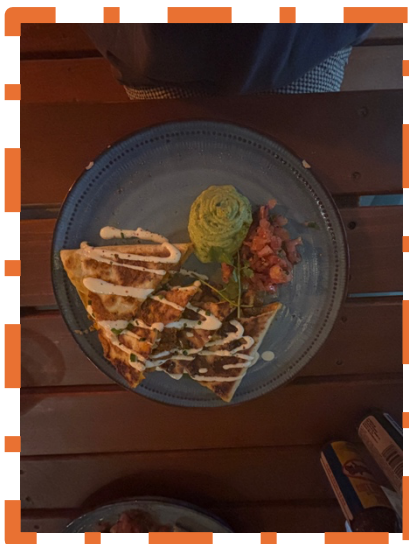


サザンクロス大学への協定校留学 Sep.

はじめに

若林 初花

9月は、帰国が近づいていることを実感しながらも、大学生活・アルバイト・私生活の全てにおいてようやく完全に慣れを感じられた1ヶ月でした。大学ではTerm4が始まり、新しい授業とともに新しい友達にも出会いました。今学期はグループワークの多い科目を履修しており、授業中に英語で意見を交換する機会がこれまで以上に増えました。そのおかげで、自分の英語力が少しずつ伸びていることを実感しています。



また、9月からは新しいアルバイトもスタートしました。働いているのは日本人従業員がほとんどのテイクアウト専門の寿司屋さんです。最初は「日本人ばかりの職場では英語の勉強にならないのでは」「せっかく留学しているのに日本人コミュニティに頼ってしまっているのだろうか」と、少し否定的に考えていました。しかし、実際に働いてみると、ワーキングホリデーで来ている人たちから海外での仕事経験を聞けたり、オーストラリアに永住している方々が生活面で相談に乗ってくれたり、多くの学びや刺激を得られる環境であることに気づきました。今では、この職場で働けて本当に良かったと思っています。

私生活もとても充実しています。友人の誕生日パーティーに参加したり、一緒に餃子を作って食べたりと、ささやかな日常の中でたくさんの思い出を作ることができました。留学生活の終わりが近づくにつれ、出会った人たちとの時間や経験の一つ一つがより大切に感じられます。これから帰国までの残り時間も、学びや出会いを大切にしながら、最後まで充実した日々を過ごしていきたいです。

